

第50回 雅 楽 ゼ ミ ナ ー ル 企画書

- 【テーマ】 神霊愛でる南都の歌舞 その式～春日大社の神楽
【日 時】 令和6年 6月30日（日）
午後2時開場 2時30分開講
【場 所】 津村ホール（大阪メトロ御堂筋線本町駅下車 ②番出口 北御堂内）
【協力費】 2,000円
【主 催】 天王寺楽所雅亮会（一般社団法人雅亮会）
【共 催】 朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター

◆対 談◆

☆神霊愛でる南都の歌舞 その式～春日大社の神楽

元春日大社権宮司・奈良県立大学客員教授 天王寺楽所雅亮会理事長

岡本 彰夫氏 × 小野 真龍氏

◆演 奏◆

蘇利古（二人舞）

演奏 天王寺楽所雅亮会

【講演概要】

希望者は、名前・連絡先電話番号を記入のうえ、6月21日（金）（必着）までに下記のアドレスにメールでお申し込み下さい。

会場入場者に制限があり定員140名と致します。先着順と致しますのでご了承ください。

また、お申込みになられたご本人1名のみのご参加と致します。受講していただける方にはその旨返信致しますので、メールに記載されている口座へ協力費2,000円を6月24日（月）（必着）までにご入金ください。ご入金済みであることを確認でき次第、入場証がわりとなるメールを返信いたします。ご入場の際にそのメールを受付でお示し下さい。

なお、協力費の振り込み手数料は申込者でご負担いただくこととなります。また、入金後は申込者がゼミナールに欠席されても協力費は返還できませんので、あらかじめご了承くださいませ。

お申し込み・お問い合わせアドレス：天王寺楽所雅亮会宛 zemi@tennojigakuso.org

【受講応募要項】

南都は雅楽や猿楽などの日本芸能の発生源であり、1300年以上にわたってそれらの保存庫でもあり続けています。その中核となっていたのが春日大社における雅楽や神楽の歌舞でした。昨年は、もっぱら春日大社の歴史と春日若宮おん祭に焦点をあてて春日大社の芸能を探索しましたが、本年はその続編として、春日大社の重要な神事芸能である巫女による社伝神楽、御神楽、和舞について、長年にわたり春日大社の神職を務められた岡本彰夫氏とともにさらに詳しく見てみたいと思います。特に春日大社の社伝神楽は明治以降諸社に伝授されており極めて重要です。また、御湯立（湯立神事）にも着目して春日大社の巫女の役割についても深く掘り下げたいと思います。